令和８年第２回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議録

令和８年第２回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、令和８年６月２９日、１３時１０分、北小野地区センターに招集された。

会　議　日　程

１　開　会

２　前回会議録の承認

３　教育長報告

報告第１号　　両小野学園運営協議会委員の任命に係る専決処分報告について
報告第２号　　要保護・準要保護生徒の認定について＜非公開＞

４　議事

議事第１号　　県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

５　その他

その他第１号　　塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

６　校長報告

７　閉会

○　出席委員

教育長	佐倉　俊
教育長職務代理者	両角　東平
委員	小澤　晃
委員	小幡　洋美
委員	小澤　秀樹

○　欠席委員

○　説明のため出席した者

両小野中学校長	富田　章
こども教育部長	植野　敦司
こども教育部次長（こども未来課長）	竹中　康成

○　事務局職員出席者

学校教育課課長	上條　崇

教育施設課長　　五味　克敏
学校教育課課長補佐　　浅川　忠幸
（教育企画係長）
学校教育課学校運営係長　　牧野　令
学校教育課児童生徒支援係長　　酒井　健太
学校教育課教育企画係　事務員　武田　恵

○　本日の会議に付した議事

会議日程に記載のとおり

１　開　会

佐倉教育長　皆さん、こんにちは。定刻より前でありますが、お集まりいただきましたので始めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

本日は大変お忙しい中、御出席をいただきまして誠にありがとうございます。今、梅雨真っただ中という季節ですが、今日は窓を開けただけでも大分涼しい感じでありますが、この天候だけではなくて、この両小野地区もそうだと思うのですけれど、熊の出没を心配される日が多くて、なかなか子どもたちの外遊びとか屋外活動が制限されてしまう日が多いかなということを思っています。子どもたちが安心して登下校したり、自由に屋外で遊べたりするようにするためには、本当にどうしたらいいかなということを苦慮しているところであります。

それではこれより、令和８年第２回塩尻市辰野町中学校組合教育委員会を開会いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、会議に先立ちまして、人事異動による新しい職員の紹介を事務局よりお願いいたします。

植野こども教育部長　皆さん、こんにちは。本年４月より、こども教育部長を務めております植野敦司と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

酒井学校教育課児童生徒支援係長　今年の４月から塩尻市学校教育課児童生徒支援係の係長に任命されました酒井健太と申します。よろしくお願いします。

武田学校教育課教育企画係事務員　こんにちは。私も４月から、前任の瀧沢に代わりまして学校教育課に配属になりました武田恵と申します。よろしくお願いいたします。

佐倉教育長　ありがとうございました。それではまた１年間よろしくお願いいたします。

２　会議録の承認

佐倉教育長　続きまして２番、前回会議録の承認について事務局からお願いします。

武田学校教育課教育企画係事務員　前回、令和８年第１回教育委員会の会議録につきましては、既に御確認をいただいております。本会議終了後に御署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。

佐倉教育長　よろしいでしょうか。

〔「はい」の声あり〕

佐倉教育長　それでは、そのようにお願いいたします。

３　教育長報告

佐倉教育長　３番、教育長報告に移ります。私から２点お願いいたします。

５月 30 日土曜日に開催されました両小野小学校の運動会を、私も参観させていただきました。前の週は霧雨の降る肌寒い日の土曜日、運動会になりましたが、当日は晴天となり、多くの保護者の方々や地域の方々に見守られ、温かな雰囲気の中で運動会が進められていました。時折、突風が吹くような場面があって、砂ぼこりが舞うときもありましたが、その天候を吹き飛ばす子どもたちのパワー、元気、やる気、本気を感じる運動会だったなというふうに感じました。

当日、塩尻市内のほかの小学校の運動会もありましたので、短時間の参観となってしまいましたが、１・２年生のかけっこの場面では、子どもたちがスタートをする地点のところに保育園の園長先生方がいらっしゃって、見守られて、声援を送っている場面を私もかいま見ることができました。園長先生方が、この前まで保育園児だった子どもたちがこんなにしっかりとねというような形で、感慨もひとしおな様子でありました。その後、両小野中学校の富田先生にもお会いすることができて、保小中連携一貫の両小野学園のよさを感じたところであります。

両小野中学校に限らず、どこの小学校もそうですが、以前は秋に行われていた小学校の運動会でありますが、ここ数年、夏から秋にかけての猛暑により、練習も十分にできないということから、５月開催が増え、今年度は両小野小学校も含む塩尻市内、昨年度まではまだ秋にやっている小学校も塩尻市内あったのですが、全て 10 校５月開催となっていました。

５月の運動会といえども、暑い日があることから、両小野小学校も参観させていただきましたが、児童の座席にテントをしっかり張っていただいてあったりとか、休憩時間をしっかり取っていただくというような形で熱中症対策に万全を期していただいているなということを感じて、先生方の御苦労というか、お心遣いをありがたく思いました。

これか梅雨が明けますと、例年、本当に暑い日が続きます。引き続き、登下校また運動する場面、また、夏休み中の部活動等も含めて、熱中症対策、安全管理を十分に行っていただきたいと思ったところであります。

続きまして、２点目です。初めに、６月５日の両小野中学校のホームページを紹介したいと思います。既に御覧になられた方もいますが、中体連夏季大会壮行会というタイトルのホームページがありました。

中体連夏季大会の壮行会が行われました。吹奏楽部の見事な演奏で選手が入場しました。各部の応援ムービーや意気込み、応援の言葉、応援と続きました。少人数の本校は選手も応援団です。お互いにお互いを応援し合います。その後、校長先生からのお話をお聞ききしました。とても温かな壮行会となりました。健闘を心から祈っています。

というホームページを見させていただきました。皆様御存じのとおり、６月は毎週土曜日・日曜日と中信大会が行われ、生徒たち、特に３年生はこの一瞬に全てをかけて力を出し切ったことと思います。

塩尻市では、令和８年度末までに休日部活動を地域クラブ活動へ展開するよう準備を進めているところですが、この夏季大会は学校の部活動として参加し、特に少人数の部活は合同部活の形で参加したケースが多くありました。両小野中学校の場合は、男子バスケットボール部が丘中学校に委任する形、女子バスケットボール部が、塩尻中・丘中との合同部活、女子バレーボール部が丘中との合同部活、剣道は両小野中学校としての参加となりました。あと、バドミントンがクラブチームの形で参加しているということでございます。

さらに、文化系の部活は、吹奏楽部は塩尻中との合同部活、美術部は両小野中学校として活動をしているところです。

このように、合同部活を両小野中学校は大分増えてきているところですので、この形が部活動の

地域展開につながっていくことになるかなと思っているところです。課題はまだまだ多々あるところですが、学校、地域、保護者の皆様にも御理解、御協力をいただき、両小野中学校のような少人数の学校の生徒たちがやりたい種目を諦めることがないように、生徒たちのやりたいに応えていけるような体制をしっかりと整えていきたいと思っているところです。

大会の様子、生徒たちの活躍の様子などについては、後ほど、富田校長先生から御報告をいただけるものと思いますので、そちらのほうでお願いをいたします。

私からの報告は以上となります。引き続き、委員の皆様から御意見、御質問、報告等ありましたら、続いて御発言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

両角教育長職務代理者　先ほどの小学校の運動会ですが、今年は来賓席ではなくて、先生側へ移りましたので、ちょうど運動会の２週間前から、私、体育代替ということで入りました。私も昔、夢中になってやって、大体１か月前くらいからやるのです。それが大体２週間前から運動会特別練習というのを組んで、ただ、昔と違うのは、危険なこととか、妙に人と人とが絡むようなことはあまりなくなりました。今風だなというような感じはすごくありました。

でも、練習のときよりも本番にはきちんと子どもたちしっかり動いて、私も２週間前から入ったのだけれども、子どもたちは、途中から入ったというような感じに見ていたので、私も自分がつくった運動会という感じではなかったのですけれども、それでもよく子どもたちは動いて、見せる運動会的になってきている部分が少しあるのかなというような感じがしました。でも、そうやって見せられた運動会になっているということは、先生たちの手の入れ方が結構大変です。私もやってみて、私、中学の部活はやっていますので、口で言えば幾らでも分かるし、意味とかそういうものは分かってやってくれるので中学生はいいのだけれど、小学生はそういうことが分からないので、すごく具体的に言わないといけない。言葉一つが全然違ってくるので、そこが先生方、非常に大変な思いで努力していただけたなとは思いました。

それから、中体連のほう、私、中信大会のベスト８まで入るというようなことで、最初はそこまで行かないのではないかと思ったのは、ここの両小野の子どもたちの特性として、ここは何となくみんな無垢な子どもたちで、あまり色を持たないといいますか、ここから高校へ行くと、必ず高校へ行って変な色の友達と仲良くなるとそういう色に染まる、いい色の友達と仲良くなるとそういう色に染まる。まだ全然ここの子どもたちは、そういう外の同じ年代の子どもたちと交流がなかなか持てないというか。でも、今年の中体連から大分違ってきたなということ。

それから、市でもやっていただけた都市大でやった探究アワードとか、ああいうほかのところへどんどん出ていくというようなことが、そういうチャンスが出てきたということで、子どもたちが、最初は確かに駄目でした。丘中と塩尻中と、人数はそんなに変わらないのだけれども、何となくうちの子どもたちは前に出ていけないという、最初はそういう感じがありました。でも、だんだんに自信が持てるというか、そこが、理由はよく分からないのだけれども、とにかく最終的にはそれぞれ自分の力を発揮して、そしてチームの一枠をきちんとしょって、そして中信大会ベスト８というような、そこへ行けたということで、いろいろなことがここの子どもたちにもいい面で出てきているのかなというようなことを思ったので、これからどんどんそういう面では、ここの子どもたちも伸びていって、今まで陸の孤島ではないけれど、そう言われていたここが、そうではなくて、子どもたちも外へ外へという、そういう動きになっていけばいいなと思うような部活動でした。

佐倉教育長　いろいろなところでありがとうございました。続いて、いかがでしょうか。

小幡委員　関わりということはあまりできなかったのですけれども、運動会も見せていただいたり、そして、いつも頂くお便りの中で、後で富田先生からもあると思うのですけれども、アントレ学習のその続きというところで、このおきな草に載っていたスタンプラリーカードが海は渡るというか、

その記事を見て、続けていっていて、すごくいいなと思いました。こういう交流があるというのはすてきことだなと思って、いいなと思いました。そのくらいです。

佐倉教育長　ありがとうございます。続いて、いかがでしょうか。

小澤晃委員　この関わりというところから言いますと、地域美化活動といって、それぞれのところ、公共施設、そういうところを小学生と中学生合同で活動しているのですけれども、大変にいいことだなと。そういう美化活動みたいなものがないと、縦割りの中学生まで、小学生が姿を見て活動できることが少ないので、大変にいい経験をしたかなと思いました。14 人が、私は油屋というところを担当で見させていただいたわけですけれども、それなり中学生が小学生を、４年生以上だったですか、指導してやっている姿がいろいろ見られてよかったなと思いました。

それから、小学校の遠足、３年生が小野の地域めぐりということで、牛首峠からずっと勝弦の宝石箱まで行って、昼食を食べてきたのですけれども、子どもたちはそれなりにいろいろなところで興味を持って、３年生は一番活動的なのだけれど、食いつくような感じでいろいろ見学というか体験もしてこられたかなと思いました。

それから、この間、６月下旬、クラブ活動にもお世話になってきまして、理科クラブなのですけれど、子どもたち、意外と手先があまり器用ではないというところが全国的に言われているのだけれど、子どもたちは比較的短時間で小さい穴のところに糸を通したり、そういうことをやっているということは、今までの積み重ねがそういうことが行われているかなというところで、興味を持って取り組めたなと思いました。

それから、別の話ですけれど、職員録といって、教職員の小中高の名簿みたいなのがあるのですけれど、今年それを買ってみて、すごくびっくりしたのは、昔は職員数が、それなりのところでは学担は１人ずつだったですよね。ところが見たら、各学校、職員の数が増えているのです。これはえらいことだなと。子どもの数が減っているのに、そういう担当しなければいけない先生方が、職員の皆さんが増えるということはどういうことかなと思って。一方は減っているのだけれど、一方は増えているという、そこら辺のところが矛盾として感じられたわけですけれど、今後、この先どんなふうになっていくのかなという思いを持ちました。

全国のニュースで、出生数が今年 64 万人。64 万人というのは 100 歳まで生きて、単純計算すると、そのままずっと行った場合は、100 倍すると 6,400 万人。今、１億 2,000 万人いるのですけれど、この計算でいくと、その半分くらいになってしまう。でも、今までどおりやっていかないといけないというところで、気候の問題とかいろいろあるわけですけれども、今後ますます国際化とか、そういうのも進んでくるのかもしれないけれど、考えていかないといけないことだなと思ったわけです。

佐倉教育長　ありがとうございます。確かに子どもの数は減っているのにというところはありますよね。またそんなところも大事な視点として持っていきたいと思います。

小澤晃委員　１つ忘れましたけれど、あるところでいろいろ情報交換、私、運動会に出なくて、研修会になったのですけれど、話をしたら、辰野町や塩尻市は手厚く支援の皆さんをつけていると。この間、新聞にも載っていましたよね。そういうようなところで、すごく手厚くやっていただいているような様子が分かりました。以上です。

佐倉教育長　ありがとうございます。特に両小野中は職員の数が減ってきてしまっているところがあって、どうしても中学の場合は専門性のある教科を入れていかないといけないところがあるので、いろいろなところを課題に持ちながらやっていきたいと思います。

小澤委員、いかがですか。

小澤秀樹委員　今ここでいろいろと始まり出している中で、プールも開かれてきていますので、自分

としては、プールを実施する期間が少し短いかなと思いつつ、安全面の配慮というところもあるかもしれませんが、子どもの親を代表すると、子どもからはまだやりたいと。まだやりたいけれど、どうしても安全上の話からすると、どうしてもそんなに簡単にはいかない。お水の関係もあるでしょうし、気候の関係もあると思うのですが、そういうところが子どもたちの思いと教育の場面の錯誤というところが少し埋められないまま数年きてしまっているところもあるので、何かしら、夏休みの開放もしているわけではないので、そういったところも少しこれから考えていかないといけない要素かなというのもあります。

話は変わるのですが、先ほど壮行会という話もいただいたのですが、とあるところの部員はもう壮行会やったすぐに大会があって、残念ながら負けてしまったというところで、そこの親の話を聞くと、悔しい反面、これから学習のほうへつつがなく入っていくかというと、まだ少し気持ちの切り替えができないと言っていましたので、そういったところを少し親としても見ていかなくてはいけないなと。

学校側に全てを任せて、学校側にやってもらえるというところではなくて、私の妻とも話をするのですが、やはり親が入っていかないと、物事ができないところがあって、今、自分の娘が中３にいるのですが、進路というところでつながりをつけていくと、親が関わらないと全てが動かないようになってしまっている。何か物事をするためにどこかに見学をしに行きますといっても、全て電車が整っているわけではないので、親が入らなくてはいけない。そういった中で、勝手にインターネットを使えるわけではないので、親のパソコン、もしくは携帯から申請をしなくてはいけないというところ。何かを見たいといっても、ネット社会になっているので。子どもにいろいろさせたい、させなくてはいけない、もう少し見てもらいたいといっても、そういうところは開けていない。

逆に、子どもにしてみれば、何をどうするべきかというところが、本人たちが考えるより親が考えてほしいという思いが少しあるのかなというのもあったので、イコール何かといえば、親もしっかり入って、子どものことを考えていかないと、次につながるやり方というのが出てこないのかなということをすごく思って。

たまたま６月１日に行かせていただいたのですが、進路校区ということで、そこの校長先生が都市大学、来ていただいたのですが、子どもたちがそういうところをもっともっと経験、もし複数回してもらえるようであれば、回数を増やして、そこでつながっていくことを言うと、学校が結構変わってきているので、選択する場面は、いろいろな学校を選択できるのですけれど、子どもたちがまだそういうところの理解がうまくできない。ルールが変わったり、方針も変わったり、教育という場面も変わってくる中で、子どもたちが入れる情報がしっかり入り込んでいないのだな。もっと言えば、自分たちが次に行くのだという意思が自分たちの中で固まっていないので、調べることも多分しないというところが、少し感慨深いなと思ったので、一親としてもそういうところにしっかりと入り込んでいかないといけないなというところとともに、教育という形に少しでも協力できればなというところを感じた。本当に今年の初めの３か月の内容でした。以上です。

佐倉教育長　様々に貴重な御意見なので、またしっかりと受け止めていきたいと思います。

よろしいですか。それぞれに貴重な御意見を頂きましたので、また次に生かしていきたいと思います。

それでは、続きます。

○報告第１号　　両小野学園運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告について

佐倉教育長　初めに報告第１号、両小野学園運営協議会委員の解任及び任命に係る専決処分報告について、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長　それでは、お手元の資料、右上に１と記載されている１ページ目、第１号の資料を御覧ください。

両小野学園運営協議会委員の辞任申出書及び推薦書が学校より提出され、委員の解任及び任命について、教育長専決により決定しましたので、報告するものでございます。

教育長専決日は、令和８年４月１日。任命委員の任期は、前任者の在任期間であります令和９年３月 31 日まで。委員の人数は昨年から変更なく 29 名となっております。委員報酬等につきましては、記載のとおりとなっており、委員名簿につきましては、裏面、次の２ページにございますので、併せて御確認をお願いいたします。説明は以上となります。

佐倉教育長　委員の皆様から質疑、御意見がありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、次に進みたいと思います。

〇報告第２号　　要保護・準要保護生徒の認定について＜非公開＞

佐倉教育長　続いて報告第２号、要保護・準要保護生徒の認定について、事務局からお願いいたします。なお、本案件は非公開としたいと思いますが、御異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

佐倉教育長　非公開とすることに決しました。傍聴者は特にいらっしゃらないということですので、この場、引き続き非公開という形で進めます。事務局から説明をお願いします。

〈非公開部分削除〉

４　議事

〇議事第１号　　県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて

佐倉教育長　続きまして、議事第１号です。県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する了解事項の取り交わしについて、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長　それでは、ホチキス留めの資料を御覧ください。３ページ目、右上に、資料Ｎｏ．３と記載されている資料になります。

議事第１号の趣旨になります。長野県教育委員会と塩尻市辰野町中学校組合教育委員会が、教育行政の適正かつ円滑な運営を図るため、教職員の任免その他の進退等に関して、了解事項を取り交わすことについて協議するものでございます。

５ページを御覧ください。了解事項が掲載されております。内容につきましては、教職員の任免その他の進退等に関して、県教育委員会と市町村教育委員会とが十分な連絡調整を行うこととされております。

次のページ、６ページ目を御覧ください。この覚書は、双方が適正に事務を執行することについて書面を取り交わし、その内容について実施するものでございます。説明は以上となります。

佐倉教育長　それでは、この議案に対しまして質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。

例年行われているものですが、毎年確認をいただいてという形で、例年のとおりの形になりますが、そのように進めていくということでお願いいたします。

それでは、教育委員会の取り交わし等について、承認することといたします。お願いします。

次に進みます。

５　その他

〇その他第１号　　塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について

佐倉教育長　続きまして、その他第１号、塩尻市辰野町中学校組合議会附議案件について進みます。

〇議案第１号　　公平委員会委員の選任について

佐倉教育長　初めに人事案件の議案第１号、公平委員会委員の選任について、事務局から説明をお願いいたします。

上條学校教育課長　それでは、お配りしております議案関係資料について御説明いたします。１ページを御覧ください。公平委員会委員の選任について、ご説明いたします。

次の２ページを御覧ください。こちらの資料のほうが分かりやすいかと思います。提案理由につきましては、公平委員会委員の選任について、地方公務員法第９条の２第２項の規定により、議会の同意を求めるものでございます。

概要につきましては、委員３人のうち、伊藤高良氏が令和８年７月６日に任期満了となることに伴い、再び同氏を適任者と認め、任命しようとするものです。

略歴書につきましては、次の３ページに記載がございますので御確認をお願いします。なお、中学校組合では、慣例によりまして、塩尻市公平委員会委員を本組合の公平委員会委員として選任させていただいております。説明は以上となります。

佐倉教育長　それでは、この議案に対して質疑等ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、次に進みます。

〇報告第１号　令和７年度塩尻市辰野町中学校組合繰越明許費繰越計算書について

佐倉教育長　続いて、報告案件の報告第１号、令和７年度塩尻市辰野町中学校組合繰越明許費繰越計算書について、事務局から説明をお願いいたします。

五味教育施設課長　それでは、議案資料の４ページを御覧ください。報告第１号、令和７年度塩尻市辰野町中学校組合一般会計の繰越明許費に係る経費を、次のとおり令和８年度に繰り越しましたので、地方自治法施行令第146条第２項の規定により、報告するものでございます。

次に、５ページ及び６ページの議案関係資料を併せて御覧ください。主に５ページになります。３款教育費２項中学校費の中学校空調設備設置事業及び、その下、中学校照明設備ＬＥＤ化推進事業につきましては、国の補正予算に対応し、令和７年度の途中の国庫補助事業の認定により、令和８年度にかけて事業執行が必要なため、予算を繰り越したものでございます。

繰越額につきましては、中学校空調設備設置事業が4,960万2,000円で、財源内訳は、特定財源が4,888万3,000円、一般財源が71万9,000円でございます。また、中学校照明設備ＬＥＤ化推進事業の繰越額は5,374万3,000円で、財源内訳は、特定財源が5,143万8,000円、一般財源が230万5,000円でございます。説明は以上になります。

佐倉教育長　それでは、この議案に対する質疑ございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、次に進みます。

６　校長報告

佐倉教育長　６番、校長報告に入ります。富田校長、お願いいたします。

富田両小野中学校長　よろしくお願いします。両小野中学の富田です。両小野中学校ですけれども、大きく生徒を減らすということもなく、60人弱くらいで今のところ推移をしておりまして、今年度新入生が17名入りました。６月１日付で辰野中学校より１名、２年生の転入があり、今現在59名で職員と共に毎日学校生活を送っております。

一昨年度制定させていただいたボランティア活動の認定制度ですけれども、それも大分定着してきているのと、地域の人たちも、大分この制度を分かっていただいてきていて、今年は様々な要望を４月から頂きました。暁祭という小野酒造を中心としたお祭りに呼んでいただいたり、霧訪山の開山祭、田植えの手伝いなどもやってくれませんかということで、３人ほど子どもたちがボランティアで参加をさせていただきました。

先ほども委員からスタンプラリーの話があったのですけれども、それもいろいろなところで旅行者や小野を訪れてくれた人たちなどがそれに参加をしてくれていて、先ほどもあったのですが、外国の方がここを訪れた際に、それをもとに地域の人たちと交流をしてくれました。地域の人たちも、これが交流の一つになってうれしいという話がありました。ですので、そうやって子どもたちが、何とかこの両小野地区をいろいろな人に知ってもらいたいと始めた活動が、いろいろなところで実を結んでいるのだなというふうに思っています。

今年もアントレプレナー学習を中心にこのような活動をしていきたいなと思っていますが、今現在はまだスタートしたばかりですので、どんな活動になっていくか見守っていきたいなと思っております。

夢プロジェクトというものを行っているわけですけれども、紅葉山の植樹活動も行いました。また、先ほど職務代理からお話がありました美化活動も済みました。生徒会の空き缶回収も行っていて、順調に集まっているかなと思います。夏休みには、チロルの森で様々な活動をさせていただくなど、地域の方々とのいろいろな活動をやらせていただいて、子どもたちも本当に励みになっています。

先ほど教育長からもお話がありましたけれども、部活動についてです。女子バスケは、目標であったベスト８を達成できたということは、子どもたち本当にうれしく思っていて、終わった後、涙涙で終わるのかなと思ったのですけれども、笑顔でやり切ったと言ってくれたのが、私はすごくうれしかったなと思います。

女子バレーも、出る回数は少ないのです。ほかに上手な子たちがいて、なかなか出る機会は少なかったのですけれども、何とか一回戦を突破して、その後、私のところに挨拶に来てくれた子たちが、応援ありがとうございました、頑張りましたと言ってくれたことが、私はこれもうれしかったなと思います。

剣道部ですけれども、１年生が入ってくれたおかげで、団体戦に参加することができました。ですが、相手は３年生で１年生で太刀打ちできるわけもなく、あっという間に終わってしまったのですけれども、それでも何とか団体戦に出られたというのが、３年生の部長にとってはうれしかったようです。

文化部も、今、コンクールに向けて一生懸命日々練習をしていますし、美術部も文化祭に向けて活動を本格化しています。

ただ、今後ですけれども、野球部は今年も入らなかったので、これで廃部という形になります。女子バレー部も、部員が１名になってしまったので、今度、委任にするか合同にするか、今検討をしています。女子バスケは部員がゼロになってしまったということで、この先しばらく休部ということになります。男子バスケは丘中に委任でお願いする子たちと、両小野バスケットボールクラブとして活動する子たちとに分かれて、存続をする予定となっています。剣道部はそのまま１年生がまだ３人いますので、存続ということになります。

生徒たち、アントレプレナー学習で探究力をすごく身につけてきているなというふうに思いますので、それを日々の教科学習にもぜひ生かしていく方向で力をつけていってくれるよう、職員も頑張って指導を続けています。

職員のほうも、学園としての９か年を見越した子どもの成長をきちんと見守っていかないといけないということで、今年、塩尻市の教育委員会の主事の中島先生に来ていただいて、夏休みに研修をするとか、小中合同の研修をするとか、学校教育というものに対する理解を学園と深めていきたいなと思っています。そういうことも根橋校長先生と相談しながら進めていきます。

子どもたち、「気づき　考え　実行する」という学校目標に今年なりました。何か自分ができることに気づいて、実行していってくれる、そんな子たちがこの両小野の地から育っていくよう、職員一同頑張っていきたいと思います。

また、11月７日に予定されているど真ん中ウォークには全校で参加する予定になっていて、この間、第１回の打合せ会を済ませました。子どもたちもこの会を盛り上げようということで、いろいろ、もう既に企画も始めてくれています。地域の方と一緒にそうやって企画できるということを、地域の方々も大変喜んでいますし、子どもたちもやりがいを持ってやってくれているということは大変ありがたいなと思っています。

そういうことで、いろいろここ２年あったのですけれど、そういうこともなく、今年は順調にスタートできていて、子どもたちも頑張ってくれているので、今年の３年目、一緒に頑張りたいなと思っています。以上です。

佐倉教育長　ありがとうございました。何か御質問等ありましたら。よろしいですか。ありがとうございます。富田校長先生、ありがとうございました。

そのほか、事務局で何かありましたらお願いします。

武田学校教育課教育企画係事務員　　本日配付いたしました非公開案件の資料、マル秘と右上に記載のある資料につきましては、この後、回収いたしますので、皆さん、そのまま机の上に置いたままにしておいてください。以上です。

佐倉教育長　ありがとうございました。そのほか、よろしいでしょうか。ありがとうございました。

７　閉会

佐倉教育長　それでは以上で、本日の教育委員会を閉会といたします。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

○　午後１３時５５分に閉会する。

以上

塩尻市辰野町中学校組合教育委員会会議規則第１７条第２項の規定により署名する。

教　育　長
同職務代理者
委　　員
委　　員
委　　員
記　録　職　員 学校教育課教育企画係